

Information School に関して

講師:

杉本 重雄 / 筑波大学・図書館情報メディア研究科・教授

2010年12月20日(月) 18:00-19:30

立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

参加無料(予約不要)

この20年ほどの間の情報環境の急激な変化とともに、アメリカの図書館専門職養成大学院である Library School は Information School (iSchool) と自ら名前を変え、有力な大学院が中心になって連携のための組織 (iCaucus) を作り上げてきた。また、iCaucusには、Library School 以外の大学院も参加している。計算機科学や図書館情報学といった旧来の枠組みを越えて、情報を中心とする専門領域の研究教育が進められてきている。

本講演では、筆者の経験と見聞を基礎として Information School について述べる。

講師プロフィール

1) 学歴・職歴

1977年 京都大学工学部情報工学科卒
1982年 同大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程単位取得退学
(1985年工学博士)
1982年 京都大学工学部助手
1983年 図書館情報大学図書館情報学部助手、以降同学部にて、助教授、教授
2002年 筑波大学との統合により筑波大学・教授・図書館情報学系
知的コミュニティ基盤研究センター勤務(2006~2009年度・センター長)
図書館情報メディア研究科、図書館情報専門学群担当
2004年 国立大学法人化により、筑波大学大学院図書館情報メディア研究科・教授
2007年 学群の改組により情報学群・情報メディア創成学群担当
現在に至る。

2) 研究活動

デジタルライブラリ、デジタルアーカイブ、メタデータ等に関心を持つ。
ACM-IEEE Joint Conference on Digital Libraries (JCDL), Steering Committee
Int'l Conf. on Asia-Pacific Digital Libraries (ICADL), Steering Committee
Int'l Conf. on Preservation of Digital Objects (iPres), Steering Committee
Dublin Core Metadata Initiative (DCMI), Oversight Committee, Advisory Board

3) 社会的活動(最近のもの)

内閣府・公文書管理委員会
総務省・経産省・文科省・デジタル・ネットワーク社会における出版物の利活用の推進に関する懇談会
Consortium of Information Schools in Asia-Pacific (<http://www.cisap.asia/>), Executive Committee Chair

12月21日(火)にも、杉本教授による講義があります。併せてご参加ください。

「ネットワークを指向したメタデータ - Dublin Core を中心として」

2010年12月21日(火) 12:00-13:30 at 立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

我々は、日常的にネットワークを利用し、何かを探し、アクセスし、評価し、利用するために多様なメタデータを用いる。本講義では、メタデータの基本的な考え方を述べた後、インターネット上でよく利用されるメタデータとして広く知られている Dublin Core の基礎概念と Dublin Core におけるメタデータの相互運用性の考え方について述べる。また Dublin Core と深い関係を持つ WWW 上でのメタデータ記述の標準である Resource Description Framework (RDF) とそれに関連する話題についても触れる。